本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

MA9603-A

CASIO

80件の電話番号やスケジュールを記憶／フリーメモ機能／ワールドタイム／時刻アラーム・時報／タイマー／1/100秒ストップウオッチ

1475

取扱説明書

1475

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。

なお、この説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

本機のお取り扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。本機の特長、機能を十分に使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

■本機の特長

- ●電池が消耗しても、入力したテレメモやスケジュールデータが保持されるメモリー（EEPROM）を使用しています。
- ●ELバックライト…暗いところでもボタン1つで表示を明るく照らします。また、スケジュールやアラームなどの報音タイミングに合わせて、ライトが点灯します。
- ●フリーメモ…テレメモやスケジュールの他に「ちょっとした覚え書き」として、21文字以内のメッセージを記憶できます。
- ●テレメモ…「名前8文字、数字12桁」のデータを最大80件*まで記憶できます。
- ●スケジュール…「月日時刻と11文字までのメッセージ」を最大80件*まで記憶できます。セット日時になると、音を鳴らして知らせます。

*メモリー件数は、テレメモ、スケジュールを合わせて最大80件までです。

- ●その他、世界25都市（海上地域を含む）の標準時刻および、世界標準時（GMT）との時差がわかるワールドタイムをはじめ、時刻アラーム、時報、タイマー、ストップウオッチ機能が付いています。

安全上のご注意

絵表示について　この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。
（左の例は感電注意）



⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。
（左の例は分解禁止）



●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。
（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となることがあります。





電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。
電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して下さい。

⚠注意

お手入れについて

本体やバンドは吸湿性のよい柔らかい布でふいて、いつも清潔にしてご使用ください。汚れたままにしておくと、変色や破損、皮膚のかぶれの原因となります。
万一、本機使用により皮膚がかぶれたときは、そのバンドの使用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

ステンレス製のバンドの場合、汚れからサビが発生し、衣服の袖を汚すことがあります。

分解しないでください



本機を分解しないでください。本機が故障したり、ケガをする原因となることがあります。

データ控を作ってください



記憶させた内容は、付属の備忘録やノートなどに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。
本機の故障、修理などにより、記憶内容が消えることがあります。

■データの保護について

●本機は電池が消耗しても記憶させた内容が保持されるメモリー(EEPROM)を採用しておりますが、以下の場合には、記憶内容が消えたり、変化することがありますのでご注意ください。

・本体を分解したとき
・故障・修理のとき
・極度の静電気や衝撃を与えたとき
・極端な外的環境下(特に低温下)で使用したとき
・電池交換の方法をまちがえたとき

●「万一の事故」、「故障・修理」、「腕時計本体の紛失・盗難」などのときのために、特に重要なデータについては必ず「名刺など元になるものを残しておく」か、「別のノートなどに書き写す」などして控えを残しておいてください。
※付属の備忘録を利用すると便利です。

〈お願い〉
電池が消耗すると、"BATT.!"マークが表示され、メモリーしたデータを見ることができなくなります(30ページ参照)。
"BATT.!" マークが表示されるときは、お早めに電池交換されることをおすすめします。なお、電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンター(裏表紙に記載)にお申し付けください。

本機を使用したこと、および故障・修理などによりデータが消えたり、変化したことで生じた損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

目　次

安全上のご注意

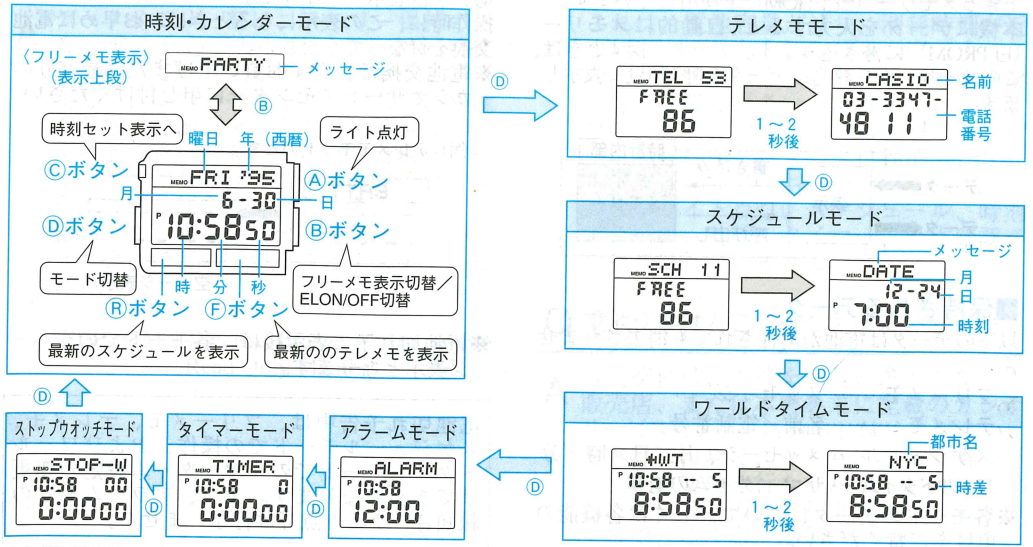
データ保護について——— 3
目次——— 4
操作のしくみと表示の見方——— 5
メモリーについて——— 6
ライト点灯について——— 8
文字の入力について——— 9
フリーメモの使い方——— 12
テレメモの使い方——— 13
スケジュールの使い方——— 16
ワールドタイムの使い方——— 18
アラームの使い方——— 21
タイマーの使い方——— 22
ストップウオッチの使い方——— 23
時刻・カレンダーの合わせ方——— 24

製品仕様 ……27
ご使用上の注意……28
お手入れについて ……29
電池交換について ……30

操作のしくみと表示の見方

Ⓓボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わります。

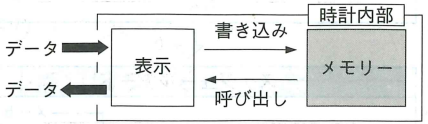
※テレメモ、スケジュール、アラーム、タイマーの各モードでは、それぞれの表示のまま２～３分すると自動的に時刻・カレンダーモードに戻ります。
※各モードで操作後、Ⓓボタンを押すと直接時刻・カレンダーモードに戻ります。



メモリーについて

■メモリーのしくみ

本機は、電池が消耗しても、入力したデータを保持できるメモリー（EEPROM）を使用しています。
本機にデータを入力すると、自動的にメモリー（EEPROM）に書き込みます。データを探すときは、このメモリーから該当のデータを呼び出し、表示します。



■保持されるデータ

以下のデータは電池が消耗されても消去されません。

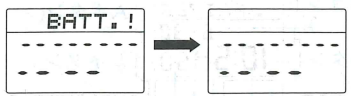
フリーメモ …… メッセージ
テレメモ …… 名前／電話番号
スケジュール … メッセージ、月／日／時／分
ワールドタイム … サマータイムの有無

※各モードのデータについて詳しくは各機能の項目をご覧ください。

■電池が消耗すると（電池切れ予告機能）

電池の消耗時期が近づくと、下図のような“電池切れ予告表示”となります。
操作時に、この表示になるときは、お早めに電池交換を行なってください。
※電池交換は、必ずお買い上げまたは最寄りのカシオサービスセンターに申し付けください。

例）テレメモモードのとき



（空ページ表示）

※電池切れ予告表示後は、各モードでの空ページ表示となります。

電池切れ予告中は、フリーメモ、テレメモ、スケジュールモードでの操作、およびワールドタイムモードでのサマータイム設定の変更はできなくなります。また、アラームなどの報知音、ライト点灯は行ないません。

メモリーQ&A

Q どうして電池が消耗してもデータが保持されるのですか？

A データメモリー部に、メモリー保持のための電源を必要としない“EEPROM*”を使用しているからです。
ただし、このメモリー部に対して、極度の静電気や衝撃を与えたり、極端な外的環境下（特に低温）で使用した場合、データが変化したり、消えてしまったりすることがありますのでご注意ください。念のため、入力したデータは必ず他のノートなどに控えておくことをおすすめします。

*EEPROM＝Electric Erasable Programble Read Only Memory　の略

Q モードを切り替えたときに、“BATT.!”表示が出るのですが？

A これは、電池容量が減り、消耗時期が近づいていることを知らせる合図です。この表示が出るときは、お早めに電池交換を行なってください。なお、このときは、フリーメモ、テレメモ、スケジュールデータの呼び出しや入力、自動消去、ワールドタイムでのサマータイム設定変更、およびライト点灯、スケジュール、時刻アラーム、時報、タイマー、操作確認音の報音は行ないません。

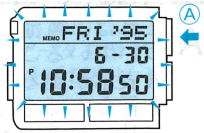
Q 電池交換はどこで行なえばよいですか？

A 電池交換は、本機をお買い求めになった販売店、または本書巻末に記載のカシオサービスセンターにお申し付けください。お客様ご自身で、むやみに裏蓋を開けたり、電池交換を行なったりすると、入力したデータが消えてしまうことがありますので、ご注意ください。

ライト点灯について

■ライト点灯のしかた

どのモードのときでも、Ⓐボタンを押すと文字盤が１～２秒間発光します。



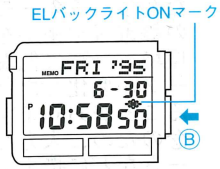
※文字盤発光中にⒶボタンを押すと、その時点から引き続き１～２秒間発光します。ただし、Ⓐボタンを１～２分以上押し続けると、自動的にライトが消えます。

＜ご注意＞
- ●直射日光の下では発光が見えにくくなります。
- ●発光中にアラームなどの電子音が鳴ると、発光を中止します。
- ●発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これは発光のために時計内部のELパネルが振動するときの音で、異常ではありません。

■ELバックライトON/OFF

ELバックライトON（✹点灯）のとき、スケジュール、アラーム、時報、タイマーのタイムアップの報音タイミングに合わせて文字盤が発光します。

ELバックライトONにするには、時刻・カレンダーモードのとき、Ⓑボタンを１～２秒間押し続けます。（確認音が鳴り“✹”が点灯します）



※もう一度同じ操作をすると、“✹”が消えてELバックライトOFFになります。

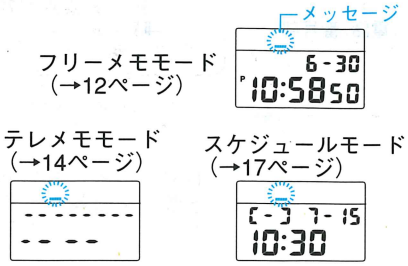
＜ご注意＞
- ●電子音の報音と発光のタイミングが若干ずれることがありますが、故障ではありません。
- ●オートリピートタイマー（22ページ）時のタイムアップでは、ELバックライトをONにしておいても文字盤は発光しません。

文字の入力について

■文字の入力

本機は、フリーメモ、テレメモ、スケジュールに、文字入力ができます。
※フリーメモには最大21文字、テレメモには名前部に最大8文字、スケジュールにはメッセージ部に最大11文字まで文字入力ができます。
※入力できる文字は、アルファベット（A～Z）、数字（０～９）、記号（空白、－、．、／、：、♥）です。

＜文字入力時の表示＞
文字入力表示にするには、各モードでの「セットのしかた」をご覧ください。

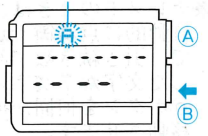


＜文字入力のしかた＞

例）テレメモモードのとき

(1)文字入力表示のとき、

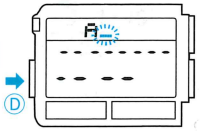
Ⓑまたは Ⓐボタンを押します



→点滅箇所に文字が表示されますので、入れたい文字を選びます。Ⓐ・Ⓑボタンとも押し続けると、文字が早く進みます。

(2)文字を選んだら、

Ⓓボタンを押します



→点滅箇所が右に１つ移動します。

※Ⓓボタンを押し続けると点滅が早く動きます。

(1)～(2)を繰り返して文字を入力します。

※文字が点滅したまま２～３分すると、自動的に点滅が止まります。

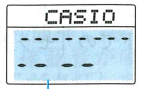
※テレメモのときは、８文字すべて入力すると自動的に点滅箇所が数字部に移動しますので、引き続き数字部の入力ができます。入力した文字が７文字以下のときは、名前入力後、Ⓓボタンを何回か押して点滅箇所を数字部に移動させます。

■数字の入力

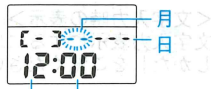
本機は、テレメモの（電話）番号部に最大12桁、スケジュールに月日時分を入力できます。

＜数字入力時の表示＞
数字入力表示にするには、各モードでの「セットのしかた」をご覧ください。

テレメモード
（→14ページ）

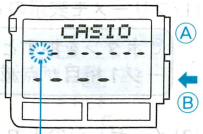


スケジュールモード
（→16ページ）



＜番号入力のしかた＞

例）テレメモモードのとき



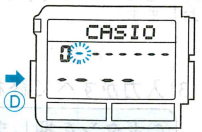
(1)数字入力表示のとき、

Ⓑまたは Ⓐボタンを押します

→点滅箇所に数字が表示されますので、入れたい文字を選びます。Ⓐ・Ⓑボタンとも押し続けると、数字が早く進みます。

(2)数字を選んだら、

Ⓓボタンを押します



→点滅箇所が右に１つ移動します。

※Ⓓボタンを押し続けると点滅が早く動きます。

(1)～(2)を繰り返して数字を入力します。

※数字が点滅したまま２～３分すると、自動的に点滅が止まります。

※テレメモのときは、12桁すべて入力すると自動的に点滅箇所が名前部に移動します。また、スケジュールのときは、月・日・時刻を入力すると自動的に点滅箇所がメッセージ部１桁目に移動します。（下図）

＜テレメモード＞

名前部



＜スケジュールモード＞

メッセージ部



フリーメモの使い方…テレメモやスケジュールの他に「ちょっとした覚え書き」として、21文字以内のメッセージを記憶できます。

■フリーメモ表示

〈時刻・カレンダーモード〉



時刻・カレンダーモードのときにⒷボタンを押すとフリーメモのメッセージが表示されます。
（７文字以上はスクロール表示）

※もう一度Ⓑボタンを押すと曜日・年が表示されます。
※メッセージが入力されていないときは“ MEMO ”表示となります。

（メッセージが入力されていないとき）



フリーメモの消去

（不要なメッセージは以下の手順で消去できます。）

入力表示のとき Ⓐ・Ⓑボタンを同時に押します



“◇CLEAR”と１～２秒間表示され、メッセージが消去されます。

※消去後に引き続きメッセージを入力できます。
入力しないときはⒷボタンを押して点滅を止めます。

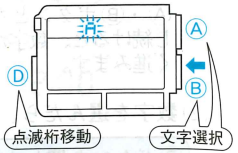
■メッセージのセット

(1)フリーメモ表示のとき、

Ⓒボタンを押すとメッセージ１桁目が点滅します



(2)メッセージの入力
９ページ「■文字の入力」を参照してメッセージ（文字）を入力します。



★メッセージの修正は…
入力時と同様に、Ⓓボタンで修正したい文字を点滅させ、Ⓐ・Ⓑボタンで文字を選びなおします。

(3)入力がすべて終わりましたら、

Ⓒボタンを押します

※メッセージが入力されているときは、“MEMO”マークが点滅します。
※フリーメモのセット表示のまま２～３分すると自動的に点滅が止まります。

テレメモの使い方…Ⓓボタンでテレメモモードにします。

テレメモモードでは、「名前８文字、数字12桁」の電話番号などのデータを最大80件（テレメモとスケジュールの合計で80件）まで記憶できます。

※テレメモモードに切り替えると、テレメモ使用件数と残りデータ数を約２秒間表示してから前回テレメモモードで最後に表示させたデータを表示します。



■テレメモデータを呼び出す

ⒻまたはⓇボタンを押します

それぞれのボタンを押すごとに記憶されているデータが呼び出されます。
※いずれも押し続けると早送りします。
※名前が７文字以上のときは文字が横に流れるスクロール表示になります。



＜参考＞
Ⓕボタンの「F」は「Forward（進む）」、Ⓡボタンの「R」は「Reverse（戻る）」の略語となります。

●インデックスサーチ

名前の頭文字を選ぶと知りたいデータが表示される機能です。

(1)テレメモモードのとき、

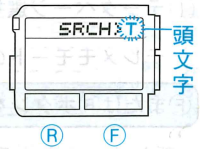
Ⓑボタンを押します

→インデックスサーチ表示になります。



(2)

ⒻまたはⓇボタンを押して名前の頭文字を選びます



※選べる頭文字は１文字です。

(3) Ⓑボタンを押します



→その頭文字の先頭にあるデータが表示されます。

※該当データが入力されていないときは"NODATA"表示となります。このときはⒹボタンを押すとテレメモモードに戻ります。

・同じ頭文字で複数のデータがあるときは、先頭データ表示後、Ⓕボタンを押してデータを進めてください。

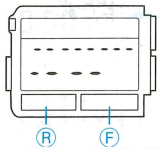
■テレメモのセットのしかた

(1)データページ選択

テレメモモードのとき、

Ⓕまたは Ⓡボタンを押します

新しくセットするときはリセット表示、修正するときは修正したいページを表示させます。



"◇FULL"と表示されるときは…

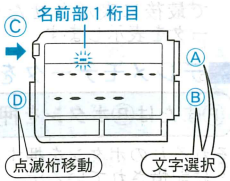
すでに150件のデータが記憶されています。これ以上のデータは記憶できませんので、不要なデータを消してから再度セットを行なってください。

・テレメモを消すとき
→ 15ページ「テレメモの消去」参照

・スケジュールを消すとき
→ 17ページ「スケジュールの消去」参照

(2)入力表示にする

Ⓒボタンを押します



→名前部の1桁目が点滅し、文字入力表示になります。

9ページ「■文字の入力」を参照して名前を、10ページ「■数字の入力」を参照して電話番号をそれぞれ入力します。

<入力するときの注意>

●名前部で、アルファベットのO(オー)を数字の0(ゼロ)で代用するなど、形の似た文字を使うと正しく並び替え(「自動ソート」参照)が行なわれませんのでご注意ください。

※数字部では、－(ハイフン)、数字(0～9)、スペース(空白)のみが表示されます。

★続けて他のデータを入力するときは
1件のデータ入力後、(表示が点滅しているときに)Ⓕボタンを押すと、新しい入力表示になりますので、新しい名前、電話番号を入力できます。

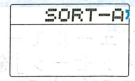
(5)入力が終わりましたら

Ⓒボタンを押します

→"自動ソート"が行なわれ、メモリー完了です。

自動ソート

名前部の8文字を1桁目から比較し、自動的に整理するものです。



(自動ソート中表示)

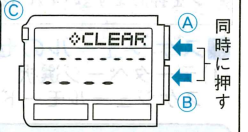
順序は、スペース(空白)、アルファベット(A～Z)、数字(0～9)、記号(－、.、／、:、▣)となります。

●テレメモの入力表示のまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。

テレメモの消去

(不要なテレメモデータは以下の手順で消去できます。)

入力表示のとき Ⓐ・Ⓑボタンを同時に押します



"◇CLEAR"と1～2秒間表示され、テレメモデータが消去されます。

※消去後に引き続きテレメモを入力できます。
入力しないときはⒸボタンを押して点滅を止めます。

スケジュールの使い方…Ⓓボタンを押してスケジュールモードにします。

スケジュールモードでは、「月日時刻と11文字までのメッセージ」を最大80件（スケジュールとテレメモの合計で80件）まで記憶できます。セットした日時になるとメッセージを表示し、20秒間電子音で知らせます。

※日付が更新されると、当日の過ぎ去ったスケジュールは自動的に消去されます。（スケジュール自動消去）

※スケジュールモードに切り替えると、スケジュール使用件数と残りデータ数を１～２秒間表示してから、現在時刻に一番近い未来のスケジュールが表示されます。

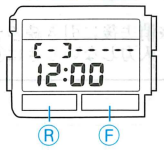
※他のスケジュールを呼び出すときは、ⒻまたはⓇボタンを押します。いずれも押し続けると早送りします。

■スケジュールのセットのしかた

(1)データページ選択
スケジュールモードのとき、

ⒻまたはⓇボタンを押します

（リセット表示）



新しくセットするときは空ページ表示、修正するときは修正したいスケジュールを表示させます。

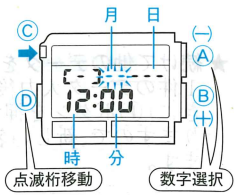
“◇FULL”と表示されるときは…

すでに80件のデータが記憶されています。これ以上のデータは記憶できませんので、不要なデータを消してから再度セットを行なってください。
・スケジュールを消すとき→17ページ「スケジュールの消去」参照
・テレメモを消すとき→15ページ「テレメモの消去」参照

(2)入力表示にする

Ⓒボタンを押します

→「月」が点滅します。10ページ「■数字の入力」を参照して月・日・時・分を入力します。



●スケジュールをセットできるのは、現在日から１年間です。（今日が12月12日のとき、翌年の12月11日までセットできます。）
●月のみをセットしたときはその月の「１日」に、日のみをセットしたときは「１月」のその日に自動セットされます。月日ともセットしない場合は、スケジュールとしてメモリーされません。
また、時刻をセットしないときはその日の「午前12時」が自動セットされます。
●「時」をセットするとき、午前／午後にご注意ください。なお、現在時刻表示で24時間制にしているときは（25ページ参照）、スケジュールも自動的に24時間制表示となります。

(3)メッセージ部の入力①
～プリセットメッセージ～

Ⓓボタンを押します



→プリセットメッセージ入力表示になります。

プリセットメッセージとは、以下の７つのメッセージ番号を指定するだけで自動的に入力できるものです。この１～７の番号は、ⒶまたはⒷボタンを押すと選べます。

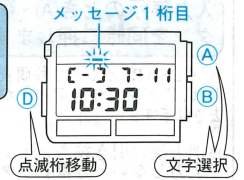
＜プリセットメッセージ一覧＞

1	APPT(appointment)	約束	5	TRAVEL	旅行(外出)
2	DOCTOR	医者(通院)	6	❖ ANV (anniversary)	記念日
3	MEETING	会議	7	❖ BIRTH (birthday)	誕生日
4	TEL	電話(連絡)			

※“❖ ANV”“❖ BIRTH”のスケジュールは、日時が過ぎても自動消去されません。記念日や誕生日など消したくないデータをセットするときに便利です。
※プリセットメッセージを使用せず、任意のメッセージを入力したいときは、［－］表示のまま、引き続きⒹボタンを押します。
（(4)メッセージ部の入力②参照）

(4)メッセージ部の入力②
～任意メッセージ～

Ⓓボタンを押してメッセージ部１桁目に点滅を移動させます



９ページ「■文字の入力」を参照してメッセージを入力します。

※点滅箇所が行き過ぎた場合は、Ⓓボタンを押して月、日…とセットしたい箇所まで点滅を移動させます。

★続けて他のデータを入力するときは
１件のデータ入力後、（表示が点滅しているときに）Ⓕボタンを押すと、新しい入力表示になりますので、左記(3)～(4)の操作を行なってデータをセットできます。

(5)入力が終わりましたら、

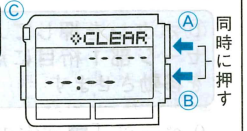
Ⓒボタンを押します → スケジュールの日付順に並び替えられます。

●スケジュールの入力表示のまま２～３分すると自動的に点滅が止まります。

スケジュールの消去

（不要なスケジュールは以下の手順で消去できます。）

入力表示のとき Ⓐ・Ⓑボタンを同時に押します



“◇CLEAR”と1～2秒間表示され、スケジュールデータが消去されます。

※消去後に引き続きスケジュールを入力できます。入力しないときはⒸボタンを押して点滅を止めます。

※鳴っている電子音を止めるにはⒻⓇⒶⒷⒸⒹボタンのうちいずれかを押します。

■デモアラーム

Ⓑボタンを押し続けると電子音が鳴ります。ELバックライト“ON”（ 点灯）のときは、文字盤も同時に発光します。

ワールドタイムの使い方

Ⓓボタンでワールドタイムモードにします。

ワールドタイムは世界25都市（海上都市含む）の時刻を簡単に知ることができます。

■都市のサーチ

ⒻまたはⓇボタンを押します

それぞれのボタンを押すごとに各都市の標準時を表示します。



※いずれも押し続けると早送りします。

※ワールドタイムに切り替えたときは、前回ワールドタイムモードで最後に表示させた都市名が表示されます。

■ワールドタイムの合わせ方

25都市のうち、1つの標準時をセットすれば時差にしたがい、他の標準時も自動的にセットされます。

※ワールドタイムの標準時セットは、時刻・カレンダーモードでの時刻セットと同様となります。

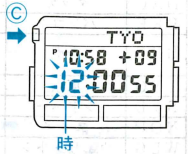
例）都市コード“ＴＹＯ”（東京）を午前10時58分にセットする

(1)ワールドタイムモードのとき、

ⒻまたはⓇボタンを押して、“ＴＹＯ”を表示させます。



(2) **Ⓒボタンを押します**



→「時」が点滅します。

(3)セット箇所を選ぶ

Ⓓボタンを押します



Ⓓボタンを押すごとに点滅（セット）箇所が「時」と「分」を移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。

※秒および12/24時間制は、（時刻・カレンダーモードの）現在時刻に連動しています。

(4)時・分のセット

ⒶまたはⒷボタンを押します

点滅箇所の数字は、Ⓑボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓐボタンを押すごとに1つずつ戻ります。

※それぞれ押し続けると早送りします。

Ⓓボタンでセットしたい箇所を選び、Ⓐ・Ⓑボタンで表示をセットするという操作をくりかえし行ない、時刻を合わせます。

(5)「時」「分」のセット後、Ⓒボタンを押すと点滅が止まります。

●ワールドタイムのセット表示のまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。

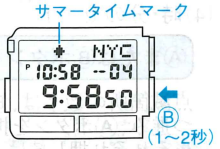
■サマータイムの設定

＜準備＞ Ⓕまたは Ⓡボタンを押してサマータイムをセットする都市を表示させます。

サマータイムの都市が表示しているとき、

Ⓑボタンを１～２秒間押し続けます

→ “◆”が点灯し、サマータイムモード(通常の時刻より１時間進む)に切り替わります。



※同様に“◆”が点灯しているときに、Ⓑボタンを押し続けると通常の時刻に戻ります。
※サマータイムはセットを行なった(“◆”点灯)都市のみ有効です。

■ワールドタイム都市コード一覧表

都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市・地域
― ― ―	――	-11	パゴパゴ
HNL	ホノルル	-10	パピート
ANC	アンカレッジ	-9	ノーム
LAX	ロサンゼルス	-8	サンフランシスコ、ラスベガス、シアトル
DEN	デンバー	-7	エルパソ、エドモントン
CHI	シカゴ	-6	ヒューストン、ダラス、メキシコシティー
NYC	ニューヨーク	-5	モントリオール、マイアミ、ボストン
CCS	カラカス	-4	サンチアゴ
RIO	リオデジャネイロ	-3	サンパウロ、ブエノスアイレス
― ― ―	――	-2	
― ― ―	――	-1	アゾレス諸島
GMT	――	±0	<グリニッジ標準時>
LON	ロンドン	±0	ダブリン
PAR	パリ	+1	リスボン、ローマ、マドリード、フランクフルト
CAI JRS	カイロ イエルサレム	+2	アテネ、ヘルシンキ ベイルート、ケープタウン
JED	ジェッダ	+3	クウェート、ナイロビ
DXB	ドバイ	+4	アブダビ
KHI	カラチ	+5	
DAC	ダッカ	+6	
BKK	バンコク	+7	ジャカルタ、ハノイ
HKG	香港	+8	シンガポール、クアラルンプール、北京、台北、マニラ
TYO	東京	+9	ソウル、平壌
SYD	シドニー	+10	グアム島
NOU	ヌメア	+11	ポートヴィラ
WLG	ウェリントン	+12	クライストチャーチ

※ この表は1995年11月現在作成のものです。
※ 時差はグリニッジ標準時(協定世界時:ＵＴＣ)を基準としたものです。

アラームの使い方…Ⓓボタンでアラームモードにします。

アラームは分単位でセットでき、セットした時間になると20秒間電子音で知らせます。また、毎正時(00分のとき)に電子音で時報を鳴らすこともできます。

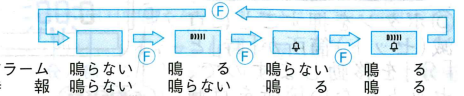
■アラーム・時報を鳴らすには

アラームモードのとき

Ⓕボタンを押します



押すごとに以下のように アラーム、時報のON/OFF が切り替わります。

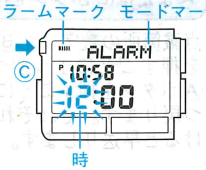


※鳴っている電子音を止めるには、ⒻⓇⒶⒷⒸⒹボタンのうちいずれか１つを押します。

■アラーム時刻のセットのしかた

(1)アラームモードのとき、

Ⓒボタンを押します



→「時」が点滅し、同時に“ ”マークが点灯します。

(2)セット箇所を選ぶ

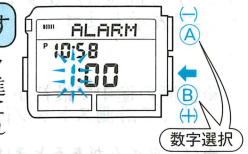
Ⓓボタンを押します



Ⓓボタンを押すごとに点滅(セット)箇所が「時」と「分」を移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。

(3)時・分のセット

ⒶまたはⒷボタンを押します



点滅箇所の数字は、Ⓑボタンを押すごとに１つずつ進み、Ⓐボタンを押すごとに１つずつ戻ります。それぞれ押し続けると早送りします。

(4)セット後、Ⓒボタンを押すと点滅が止まります。

Ⓓボタンでセットしたい箇所を選び、Ⓐ・Ⓑボタンで表示をセットするという操作をくりかえし行ない、アラーム時刻を合わせます。
※「時」セットのとき、午前／午後にご注意ください。
※現在時刻が24時間制表示のときは(25ページ参照)、アラーム時刻も自動的に24時間制となります。

●アラーム時刻のセット表示のまま２～３分すると自動的に点滅が止まります。

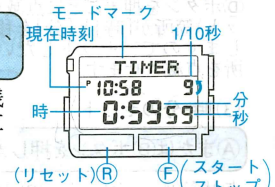
タイマーの使い方…Ⓓボタンでタイマーモードにします。

タイマーは分単位で最大24時間までセットでき、セット時間が経過すると10秒間電子音が鳴ります。

■タイマーの使い方

〈タイマーモード〉

Ⓕボタンを押します



→減算計測を開始し、残り時間を1/10秒単位で表示します。

※計測の途中で最初からやり直すときは、Ⓕボタンを押して計測ストップ後、Ⓡボタンを押します。

★ロスタイムがあるときは
減算計測中、Ⓕボタンでストップ後、もう一度Ⓕボタンを押して再スタートすると、表示タイムに引き続き計測を始めます。

■タイムアップになると

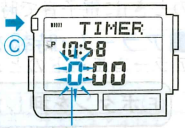
残り時間が0になると、約10秒間電子音が鳴ります。(オートリピートタイマー時を除く)

ELバックライト"ON"(☀点灯)のときは、文字盤も同時に発光します。
※鳴っている電子音、発光はⒻⓇⒶⒷⒹボタンのうちいずれか1つを押すと止まります。

■タイマー時間のセットのしかた

(1)タイマーモードのとき、

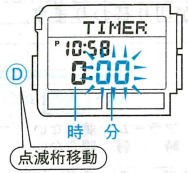
Ⓒボタンを押します



→タイマー時間の「時」が点滅します。

(2)セット箇所を選ぶ

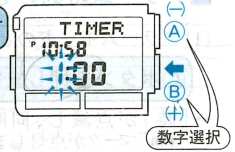
Ⓓボタンを押します



Ⓓボタンを押すごとに点滅(セット)箇所が「時」と「分」を移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。

(3)時・分のセット

ⒶまたはⒷボタンを押します



点滅箇所の数字は、Ⓑボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓐボタンを押すごとに1つずつ戻ります。それぞれ押し続けると早送りします。

Ⓓボタンでセットしたい箇所を選び、Ⓐ・Ⓑボタンで表示をセットするという操作をくりかえし行ない、タイマー時間を合わせます。

(4)セット後、Ⓒボタンを押すと点滅が止まります。

●タイマー時間のセット表示のまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。

■リピートタイマーとオートリピートタイマー

本機のタイマーは使い方に応じてリピートタイマーとオートリピートタイマーを選ぶことができます。

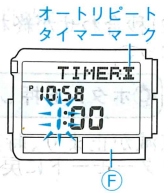
●リピートタイマー(繰返し計測)
残り時間が0になると、計測前にセットした時間を表示しますので、同じ時間を何回も計測するときに便利です。

●オートリピートタイマー(自動繰返し計測)
残り時間が0になると、続けて計測前にセットした時間の減算計測を繰返し行ないます。

●タイマー方法の選び方

タイマー時間セット(表示が点滅している)のとき、

Ⓕボタンを押します

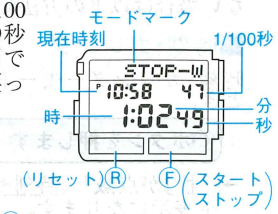


押すごとにリピートタイマーとオートリピートタイマー("I"点灯)が切り替わります。

ストップウオッチの使い方

Ⓓボタンでストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは、1/100秒単位で23時間59分59秒99(24時間計)まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。



■計測のしかた

●通常計測

Ⓕ(スタート) ⟹ Ⓕ(ストップ) ⟹ Ⓡ(リセット)

※積算計測…ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずにⒻボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測をはじめます。

計測中にⓇボタンを押すと「スプリットタイム計測」となり、以下のような計測も行えます。

●スプリットタイム(途中経過時間)の計測

Ⓕ スタート ⟹ Ⓡ スプリット計測 ⟹ Ⓡ スプリット解除 ⟹ Ⓕ ストップ ⟹ Ⓡ リセット

●1着・2着のタイム計測

Ⓕ スタート ⟹ Ⓡ 1着がゴール(1着タイム表示) ⟹ Ⓕ 2着がゴール ⟹ Ⓡ 2着タイム表示 ⟹ Ⓡ リセット

時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は以下の方法で合わせてください。

■時刻・カレンダーの入力表示にする

時刻・カレンダーモードのとき、

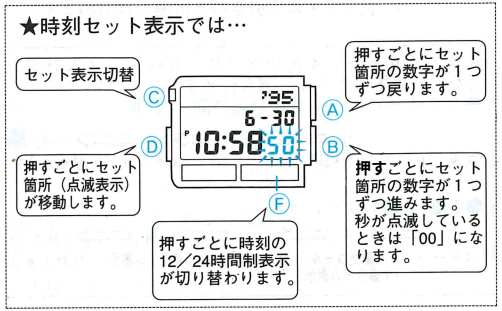
Ⓒボタンを押します



→「秒」が点滅し、時刻セット表示になります。

※もう一度Ⓒボタンを押すと点滅が止まり、時刻・カレンダーモードに戻ります。

★時刻セット表示では…



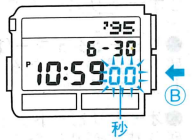
●秒の合わせ方

～秒合わせは月に1度くらい行なうと時刻はいつも正確です～

＜準備＞ 時刻セット表示で秒を点滅させます。

(1) **時報に合わせてⒷボタンを押します**

秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分くりあがって00秒になります。



※時報は「時報サービス117番」が便利です。

(2) 秒合わせが終わりましたら、

Ⓒボタンを押します



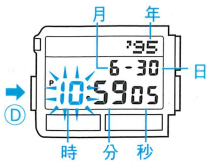
点滅が止まり、時刻・カレンダーモードに戻ります。

●時刻・カレンダーの合わせ方

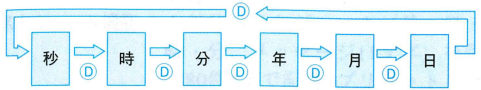
＜準備＞ 時刻セット表示で秒を点滅させます。

(1) セット箇所を選ぶ

Ⓓボタンを押します



Ⓓボタンを押すごとに点滅（セット）箇所が以下の順で移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。

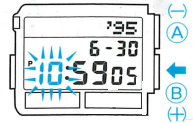


※「年」は西暦下2桁のみ表示され、1995～2039年までセットできます。

※曜日は年・月・日を合わせれば自動的にセットされます。

(2) 表示数字のセット

ⒶまたはⒷボタンを押します



点滅箇所の数字は、Ⓑボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓐボタンを押すごとに1つずつ戻ります。Ⓑ・Ⓐボタンともそれぞれ押し続けると早送りします。

左記(1)～(2)の操作をくりかえし行ない、時刻・カレンダーを合わせます。

※「時」のセットのとき午前（"P"消灯）／午後（"P"点灯）、24時間制(24)にご注意ください。

※12時間制と24時間制表示を切り替えるには、セット表示のとき（いずれかが点滅）にⒻボタンを押します。

(3) 時刻・カレンダー合わせが終わりましたら、

Ⓒボタンを押します

点滅が止まり、時刻・カレンダーモードに戻ります。



※なお、時刻またはカレンダーを変更したときは、新しい時刻・カレンダーに一番近いスケジュールを表示します。

●カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。
●時刻セット表示のまま２～３分すると、自動的に点滅が止まり、時刻・カレンダーモードに戻ります。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
常温携帯精度：平均月差±15秒以内
基本機能：時・分・秒・年・月・日・曜日
スケジュール予告、フルオートカレンダー（1995～2039年）
フリーメモ機能：最大21文字までのメッセージ１本を記憶
テレメモ機能：電話番号など（名前部８文字、電話番号部12桁）を最大80件*まで記憶、自動ソート機能
スケジュール機能：１年分のスケジュール（月・日・時・分、メッセージ11文字）を最大80件*まで記憶、プリセットメッセージ（７種類）
*メモリー件数は、テレメモ、スケジュール双方のデータを合計して80件までとなります。
ワールドタイム機能：世界25都市（海上地域を含む）の時刻を表示、サマータイム設定機能、基準設定機能
アラーム機能：時刻アラーム　セット単位＝分
電子音＝20秒間
時報　毎正時に2回報時
タイマー機能：セット単位＝分　計測範囲＝24時間
計測単位＝1秒　電子音＝10秒間
リピート計測／オートリピート計測
ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒
計測範囲＝23時間59分59秒99（24時間計）
計測機能＝通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測
セット機能：時刻・カレンダーセット機能、秒合わせ機能（±30秒アジャスト）、フリーメモセット機能、テレメモセット機能、スケジュールセット機能、ワールドタイムセット機能、アラームセット機能、タイマーセット機能
その他：自動復帰機能、12/24時間制表示切り替え、デモアラーム、ELバックライト
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子
ワンチップ　CMOS - LSI
使用電池：CR - 2016（電池別途販売）
電池寿命：約２年
（１日当たりライト1.5秒間、アラーム20秒間（ELONのとき）使用した場合）
●ライト使用条件により、電池寿命が短くなることがあります。
１日当たり7.5秒（1.5秒×５）使用→約1.3年（約15ヶ月）
１日当たり15秒（1.5秒×10）使用→約0.9年（約10ヶ月）

ご使用上の注意

■防水性

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5 BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※専門的な潜水＝スキューバダイビング(アクアラング)でのご使用はお避けください。

●**表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。**
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
●防水性を保つために定期的（２～３年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。
●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）
●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

■バンド

●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単に拭き取ることができます。

■温度

●直射日光が長く当たったり、高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。
●＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

■ショック

●通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると故障の原因になります。

■磁気

●磁気の影響はありません。

■薬品類

●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約７年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオサービスセンターに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

■ELパネル（表示照明部）の交換について

表示照明用として本機に使用しているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

ご使用中、万一、液晶部に“◇CLOSE”と表示されたまま消えないときは、速やかにお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお持ちください。“◇CLOSE”と表示したまま裏ブタを開けるなど分解しますと、記憶したデータが消えることがあります。

お手入れについて

■お手入れのしかた

●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布で拭き取り、常に清潔にご使用ください。
●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損なわれることがあります。

■お手入れを怠ると

●「サビ」
● ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
● 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

●「劣化」
● 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

●「かぶれ」
● 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすること特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
● 万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

■最初の電池

●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。

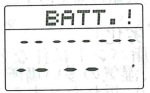
※電池交換の場合は保障期間内でも有料となります。

■消　　耗

●電池が消耗しますと「時計の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」することがあります。

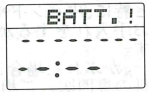
●電池の消耗時期が近づきますと、電池切れ予告として、“BATT.！”表示を行ないます。(右図)
このときはお早めに電池交換を行なってください。

例）テレメモモードのとき



●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

例）スケジュールモードのとき



●電池の消耗時期が近づくと…

メモリーに記憶されているデータを保護するため、データ呼び出し、入力などのメモリーを使用する操作はできなくります。また、スケジュールやアラーム、タイマーの報知、およびライト点灯は行ないません。

＜フリーメモ、テレメモ、スケジュールのとき＞
データ呼び出し、入力などの操作はできません。
(ボタン操作をしても、“BATT.！”を１～２秒間表示し、空ページ表示となります)
また、スケジュール自動消去も行ないません。
なお、データ入力途中に電池が消耗すると、そのとき入力していたデータは記憶されません。

＜ワールドタイムモードのとき＞
サマータイムの設定変更はできません。

＜その他＞
スケジュールアラーム（時報）、タイマー報知、操作確認音の報音、ライト点灯は行ないません。

■電池交換

電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。

■お客様へ

電池交換の際には、お店の方に必ずこのページをお見せください。

■ご販売店さまへ

本機の電池交換を行なう場合、以下の点にご注意ください。

●使用する電池は
電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

●電池交換前のご注意
裏蓋を開けたときに、万一、液晶部に“◇CLOSE”と表示されているときは、電池を抜き取らず、裏蓋を閉じ、しばらくしてからあらためて裏蓋を開けるところから行なってください。なお、“◇CLOSE”表示のときに電池交換を行なうと、データ内容が変化したり消えてしまうことがありますのでご注意ください。

※表示が消えているときは問題ありません。

●電池交換後のご注意
電池交換後、裏蓋を閉める前に、必ず、オールクリアー（AC）操作を行なってください。

※オールクリアー操作を行なっても、データが消えることはありません。

●電池交換のご注意
裏蓋を閉めたあと、約15秒経過しても表示が正常に戻らないときは、もう１度裏蓋を開け、オールクリアー（AC）操作を行ってください。

オールクリアー操作を行なうと、内部のデータをチェックするために“◇WAIT”と表示されます。入力されているデータ数により、最大12分間かかることがあります。なお、“◇WAIT”表示のときには、時刻修正（24ページ）は行なえますが、それ以外の操作はできませんのでご注意ください。内部でのデータのチェックが終わると、正常に使用できます。

